

科目名	老年学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
高齢者医療におけるリハビリテーションの役割を知り、そのために必要な高齢者についての基礎的な知識を学習する。							
〔授業全体の内容の概要〕							
生理学、解剖学の基礎医学の知識を確認しながら高齢者の身体的、精神的特徴、かかりやすい疾患、等の学習を進める。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
高齢期の特徴(身体的、精神的)、及びかかりやすい疾患を述べることができる。							
回数	講義内容						
1	老化とは						
2	高齢期の加齢に伴う変化(生理機能 運動機能 精神心理面等)						
3	高齢期の加齢に伴う変化(生理機能 運動機能 精神心理面等)						
4	高齢期の加齢に伴う変化(生理機能 運動機能 精神心理面等)						
5	高齢期の加齢に伴う変化(生理機能 運動機能 精神心理面等)						
6	高齢期の加齢に伴う変化(生理機能 運動機能 精神心理面等)						
7	高齢期の加齢に伴う変化(生理機能 運動機能 精神心理面等)						
8	まとめ						
	定期筆記試験						

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
配布プリント		

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする
